



Nine Eagles®

J6

Nine Eagles 6ch J6送信機 (SLT仕様)

日本語取扱説明書

Hitec Multiplex Japan 2012



SLT
Ver.1208

お買い上げありがとうございます。安全の為に使用前に必ず当説明書を最後まで読みになり、操作を理解してからお楽しみください。

送信機概要

1.J6の特徴

- ・メタルベアリング採用の高級機並みのスティックユニットを新開発。スムーズなフィーリングの操作感。
- ・視認性の良いバックライト付きLCD装備。
- ・スワッシュCCPM対応。
- ・3DフライトモードSWを装備
- ・ヘリ、アクロのモデルタイプ切り替え装備。
- ・金属製のキャリングハンドル装備。
- ・スティックヘッドはアルミ切削のノンスリップヘッドを採用、長さ調整も可能です。
- ・スティックテンション調整可能。(内部)
- ・送信機の両サイドにスリップ防止のラバーグリップ装備。
- ・安全の為にSWセーフティウォーニング装備。
- ・ワンタッチ スティックモード切替。

2 : J6仕様

- ・送信周波数帯 : 2.4GHz
- ・電波方式 : SLT™プロトコル方式
- ・操作CH : 6CH
- ・使用電源 : UM3×8本
- ・動作電圧 : 8.5V~13V
- ・消費電流 : 約200~250mA
- ・使用電池:単三乾電池(アルカリ推奨)×8本(別売)
- ・動作電圧: 8.5-13V

送信機各部名称

ご注意：アンテナの先端方向は電波が弱いので機体にアンテナを 横に向けるようにしてください。また、突然モーターが回転するのを防ぐ為に必ずスロットルスティックは最スローで電源を入れてください。

1. F.M/GEAR

このスイッチは3Dフライトをして頂く際に使用します。

※このスイッチは手前に入っている状態でプロポの電源を入れますと画面に3Dと表示され同時にエラー音が鳴り、初期画面に移行しません。

2. HOLD/FLAP

このスイッチを下げるとモーターが回らなくなり、3Dフライトモード時のブレードの角度を確認していただけます。また、ピッチカーブ設定画面でこのスイッチを下に下げると3Dフライトモード時のブレード角度の数値に変化します。

※このスイッチが下に入っている状態でプロポの電源を入れたら画面に表示され、同時にエラー音が鳴り初期画面に移行しません。

3. HOV/FLAP.T

このダイヤルは3Dモード時のスロットルカーブの数値の中間でのパワーを増減させることができます。右に回すとパワーが上がり、左に回すとパワーが下がります。

※このダイヤルは3Dモード時のみ反映されノーマルフライトでは機能しません。

4. trainer

SLT仕様の当製品では使用しません。

5. D/R

このスイッチは舵を最大に切ったときの効き具合を2ポイント切り替えることができます。初期設定ではスイッチが上の位置で舵が良く効くように、下の位置で若干マイルドになるようになっています。またD/R設定画面でこのスイッチを切り替えますと数値が変化する様子をご覧ください。



6. G・S

このスイッチは2ポイントのジャイロ感度の切り替えが可能です。ジャイロ感度設定画面でこのスイッチを切り替えると数値が変化します。

7. MODE

このボタンを長押しすることでメニュー画面に移行します。

8. END

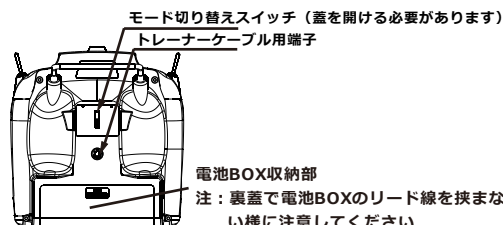
このボタンを押すと以前の画面に移行します。

※MODEとENDボタンを両方あわせて長押しするとアドバンスセットアップモードに移行します。

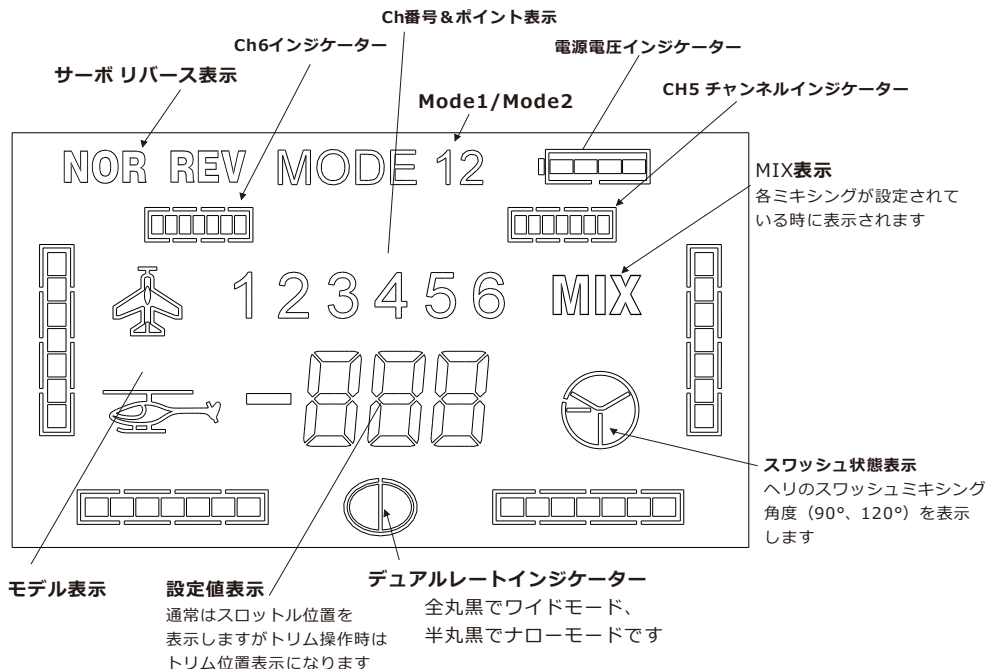
9. PUSH

決定するときはこのボタンを押してください。ページを移行したりする時はボタンを回してください。

背面



LCD 画面説明



受信機のバインド (Bind)

- ・送信機は1台1台異なったIDを持ちます。これを受信機に登録して動作できるようにする作業をバインドと呼びます。RTF製品は既に工場でバインドを完了済みです。
- ・SLTプロトコル方式のJ6送信機は、送信機電源を入れて頂き、機体側受信機内にあるバインドボタンを押し込みます。バインドしづらい場合は、機体バッテリーをつなぐ際、バインドボタンを押し込みながらバッテリーを繋ぎます。

バインドが完了すると機体が反応しますので、動作確認を行ってください。

注：バインド作業は無線LANや他の2.4G電波の影響の無い場所で行ってください。

注：バインド時は送信機と受信機は10cm以内に置いてください。

セーフティウォーニング機能

電源SWをONにした時に3DフライトモードSWとスロットルホールドSWがONの場合、危険防止の為にアラームが鳴りLCDに表示が出ますので各SWをOFF（奥側）にしてください。

■CH配置表

送信機の各CHの配置です。受信機の各CHに対応した舵のサーボを接続します。
※RTFセットでは既に工場で接続済みです。

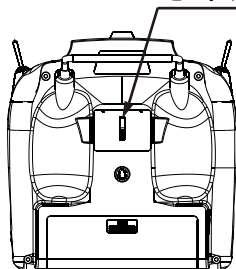
■J6送信機

Ch番号	ヘリコプターモード	アクロモード
CH1	エルロン	エルロン（フラップロン、エレボン）
CH2	エレベータ	エレベータ（エレボン、Vテール）
CH3	モータースピードコントローラー	モータースピードコントローラー
CH4	ラダー	ラダー（Vテール）
CH5	ジャイロ感度	引込脚（ギア）
CH6	ピッチ	フラップ（フラップロン）

■操作モードの切替（Mode2へ）

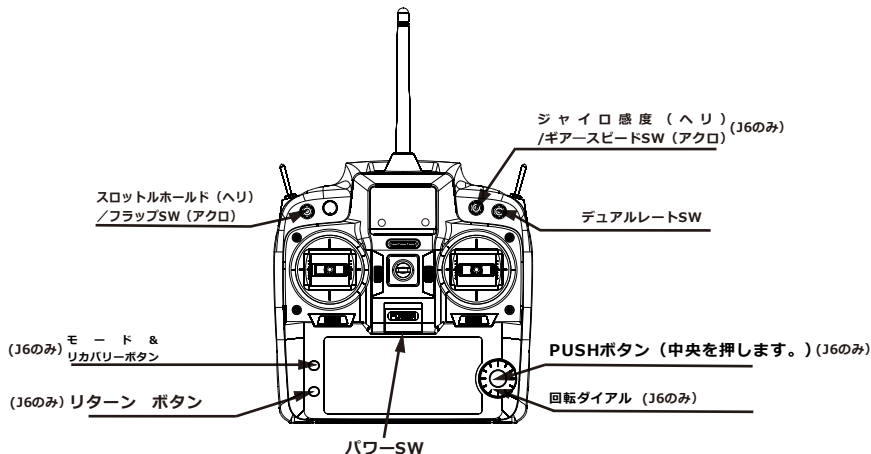
モード切り替えスイッチ（蓋を開ける必要があります）

背面



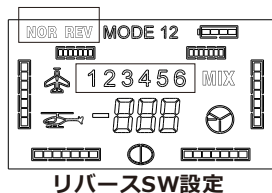
※モードを切り替える場合は背面の上側蓋を開け、電源を切った状態でモード切替レバーをMode2の位置にしっかり押し込みます。その後、電源を入れると、Mode2への切替が完了します。

■ 設定モード操作方法 (セッアップモード)

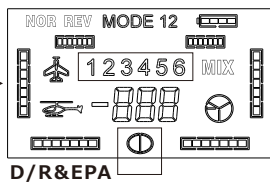


1.電源を入れ、「MODE」ボタンを長押しします

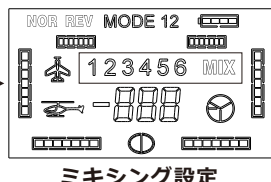
2.ダイヤルを回すと下記のように画面が遷移し、各設定が出来ます (□枠内が点滅します)



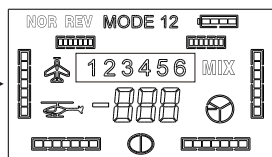
リバースSW設定



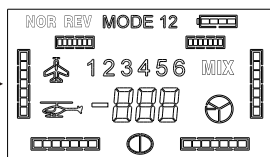
D/R&EPA
(左右別、舵角調整) 調整



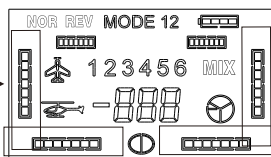
ミキシング設定



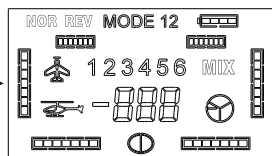
EXPO (カーブ調整等)



ジャイロ感度調整
([G-S]と点滅)



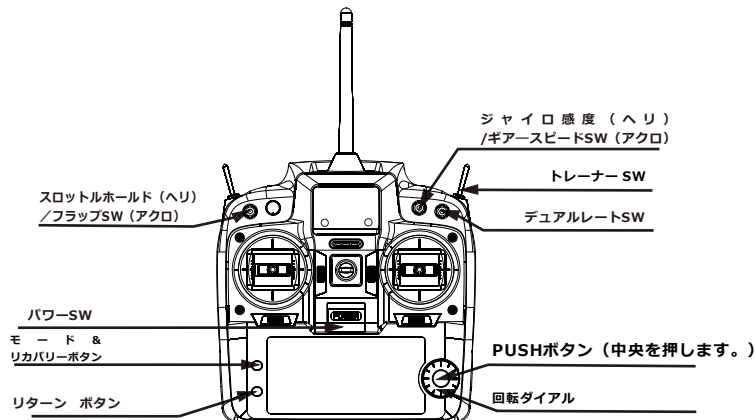
サブトリム調整



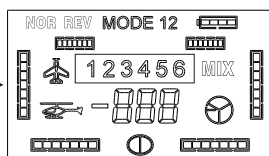
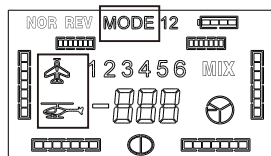
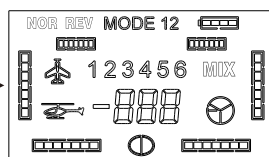
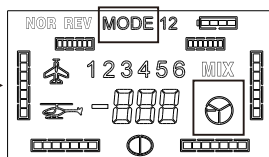
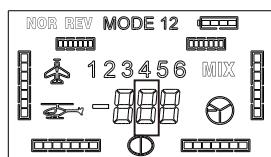
Holdモード設定
([r-H]と点滅)

※P.8より解説があります。

■ アドバンス設定モード操作方法 (J6)

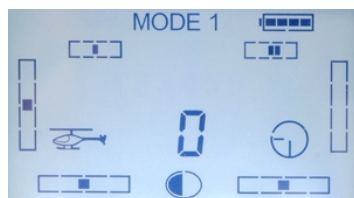


- 1.電源を入れ、「MODE」および「END」を同時に長押しします
- 2.ダイヤルを回すと下記のように画面が遷移し、各設定が出来ます (□枠内が点滅します)



■J6送信機 基本設定

これが電源を入れた際の基本画面です。ここからモードボタンを長押しすることで最初のサーボリバースメニューに移ります。



1. サーボリバースメニュー



画面の数字はチャンネルを表してしています。

1. エルロン 2.エレベーター 3.スロットル 4.ラダー
5.ジャイロ感度 6.ピッチ

※ NOR、正転 REV、逆転

この画面はサーボリバースメニューです。

このメニューではサーボの動作方向を決定します。設定する場合はPUSHを次のメニューに移行する場合はダイヤルを右に一つ回してください。

PUSHを1回押すと1が点滅します。この時にどのチャンネルを変更するのかダイヤルを回して決定してください。設定するチャンネルが決定したらPUSHを押すことで、NOR、またはREVが点滅します。NORが点滅していれば右に回すことでREVに変化します。

必要な設定値でPUSHを押すことで、今設定したチャンネルの次のチャンネルに移行します。終了する場合はENDを押してください。ENDを押すと上記の画面に戻ります。

2. D/R設定メニュー



画面2のサーボリバースメニュー画面からダイヤルを右に一度回すことで上記の画面が表示されます。この画面はD/R設定メニューです。設定する場合はPUSHを次のメニューに移行する場合はダイヤルを右に一つ回してください。

D/Rを変更する場合はPUSHを押してください、PUSHを押すと初期値であればチャンネル1が点滅し中央に80又は100の数値が表示されます。チャンネルを変更する場合はダイヤルを回し決まったらPUSHを押してください。チャンネル番号と中央の数値が点滅します。ここでダイヤル操作をしますと数値が変化しますのでお好みの数値が決まったらPUSHで決定してください。

(舵の効きをよくする場合は+方向に数値を上げてください)

そうしますと次のチャンネルに移行します。終了する場合はENDを押すと、上記の画面に戻ります。

※D/Rとは各舵において舵を最大に切ったときの舵の切れ具合のことです。J6送信機ではD/Rの数値を左右独立して変更可能です。変更する際はD/Rの数値変更画面で各スティックを上下左右に傾けてください。数値は-1 2 5から+1 2 5の範囲で変更可能です。

ここでの画面の数字1、2、4 はエルロン、エレベーター、ラダーを表しています。

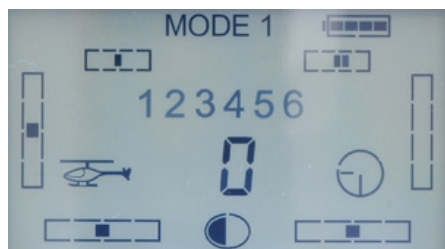
3. ミキシング設定メニュー



画面3のD/Rメニュー画面から右に回すことで上記の画面が表示されます。この画面はミキシング設定メニューです。設定する場合はPUSHを次のメニューに移行する場合はダイヤルを右に一つ回してください。

※このミキシング機能は弊社ヘリシリーズでは使用しませんので誤って設定してしまい送信機の画面にMIXという表示が出てしまったらこのメニュー画面でPUSHを押しチャンネル1とMIXが点滅していればダイヤルを右に回しPUSHを押し、ミキシングを解除します。

4. スロットルカーブ/ピッチカーブ設定メニュー



画面4のミキシング画面から右に回すことで上記の画面が表示されます。この画面はEXPO設定、スロットルカーブ設定及びピッチカーブ設定メニューです。設定する場合はPUSHを次のメニューに移行する場合はダイヤルを右に一つ回してください。

PUSHを一度押しますと最初に（チャンネル1と中央に0 0E各機体のEXPOの初期値）が表示されます。ここでダイヤルを右に行くと

(1.00E → 2.00E → 3.dot → 4.00E → 6.dot)

このように画面に表示されていきます。

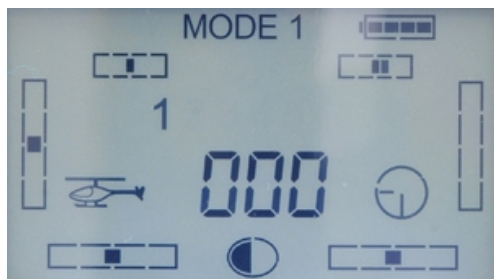
EXPOを変更する場合はこの画面でダイヤル操作をし1、2または4に合わせてPUSHを押します。そうして真中の00Eが点滅しますとダイヤル操作によりEXPOの数値が変更できます。変更完了しましたらPUSHを押してください。

※EXPOとは各舵において中立付近での舵の切れ具合のことです。

次はスロットルカーブの説明です。

※ここでの画面上の数字は1エルロンEXPO、2エレベーターEXPO、
3スロットルカーブ、4ラダーEXPO、6ピッチカーブを表しています。
EXPO数値は-80から+80の範囲で変更可能です。

4-1. スロットルカーブ設定画面



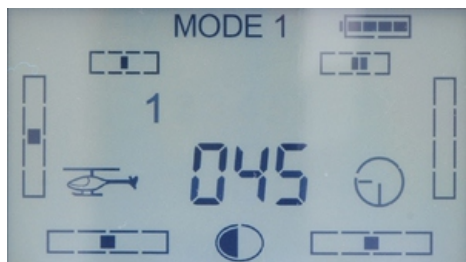
(1.00E → 2.00E → 3.dot → 4.00E → 6.dot)

これが表示されている画面で3.dotを選択しPUSHを押してください。上記のような画面に移行します。これがスロットルカーブ設定画面です。ここでダイヤルを右に回していくと画面上の数字が1→2→3→4→5と変化します。それに伴い中央の数字も数値が大きくなるように変化します。

スロットルカーブの数値を変更する場合は1→2→3→4→5と変化する画面で変更したい位置を選択したらPUSHを押します。中央の数値が点滅しますのでダイヤルを回すことにより数値を増減させることができます。決定したらPUSHを押してください。次の数字に移行します。ENDを押せば3.dotと表示される画面に戻ります。

例えばポジション3で数値を増減させるとスロットルスティック中立でのモーター出力が増減します。

4-2. ピッチカーブ設定画面



(1.00E → 2.00E → 3.dot → 4.00E → 6.dot)

これが表示されている画面で6.dotを選択しPUSHを押すとピッチカーブ設定画面に移行します。

ここでダイヤルを右に回していくと画面上の数字が1→2→3→4→5と変化します。伴い中央の数字も数値が大きくなるように変化します。

ピッチカーブの数値を変更する場合は1→2→3→4→5と変化する画面で変更したい位置を選択したらPUSHを押します。中央の数値が点滅しますのでダイヤルを回すことにより数値を増減させることができます。決定したらPUSHを押すことで次の数字に移行します。

ENDを押せば6 dotと表示される画面に戻ります。例えばポジション3で数値を増減させるとピッチスティック中立でのブレードの角度が増減します。

※ここでの画面上の数字1→2→3→4→5はピッチスティック各ポジションでのブレードの変化量を表しています。例えば1はピッチスティック下、3は中立、5は上、2と4はそれらの間といった具合です。数値は0から100の範囲で変更可能です。

5. ジャイロ感度設定メニュー



4のEXPO設定、スロットルカーブ設定及びピッチカーブ設定メニューよりダイヤルを右に一度回すことで上記の画面が現れます。

これはジャイロ感度設定メニューです。設定する場合はPUSHを次のメニューに移行する場合はダイヤルを右に一つ回してください。

ここでは一度PUSHを押すと最初から中央の数字が点滅している状態にありますので数値を増減させる場合はダイヤルを操作し決定したらPUSHを押してください。決定し、PUSHを押す設定された感度の数値が記憶され次のサブトリムメニューに移行します。

※この設定はラダー感度調整のみです。

50%が基準でジャイロ感度が0という状態になり50%から下は0%が（感度最大）50%から上は100%で（感度最大）となります。

通常デフォルトのジャイロ感度で適切に飛行できる感度が入っておりますのでテールが震える（ハンチング）などの症状が出ない場合は特に感度を変更していただくことなく問題ありません。

6. サブトリム設定メニュー



画像8のジャイロ感度設定メニューよりダイヤルを右に一度回すことで上記の画面が現れます。これはサブトリム設定メニューです。

設定する場合はPUSHを次のメニューに移行する場合はダイヤルを右に一つ回してください。

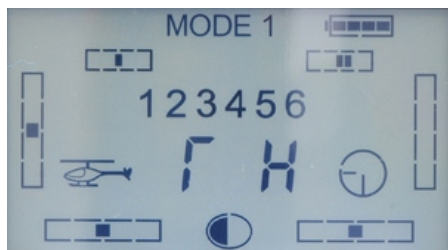
サブトリムを調整する場合はまず、画像9の画面で1度PUSHを押します。

すると最初にエルロンポテンショングラフが点滅します。

ここでダイヤルを回しエルロン、エレベーター、ラダーどのチャンネルを変更するのか選んでください、決まったらPUSHを押します。中央の000が点滅しますのでダイヤルを回し任意の数値に決まればPUSHを押し決定してください。

※弊社ヘリコプターシリーズはホバリング調整がなされているため通常はサブトリムを調整する必要はありません。

7. スロットルホールド設定メニュー



画像9のサブトリム設定メニューよりダイヤルを右に一度回すことで上記の画面が現れます。これはスロットルホールド設定メニューです。

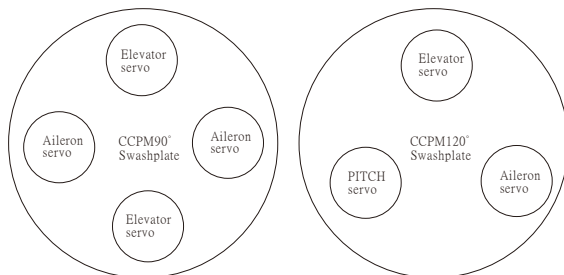
画像10の画面より一度PUSHを押すと中央に点滅表示の000が表示されますので、ホールド時のモーターパワーを変更する場合はダイヤル操作で数値を変更し、PUSHを押してください。ここで決定しPUSHを押すと最初のサーボリバースメニューに戻ります。

※デフォルトの000より数値を上げていくとHOLDスイッチを入れた状態でもモーターが回る設定になりますのでご注意ください。

■CCPM・ミキシング

機能説明：

スワッシュプレート的方式を設定します。図のようにCCPM90°と120°を選択できます。RTFモデル付属J6送信機は工場出荷時に設定されている値が初期値となります。原則NineEagles可変ピッチヘリは90°設定です。初期値のままご使用ください。



重要な注意！

CCPMの値を変更する際は機体取扱説明書に従って正しく設定してください。この値を間違えると正しくフライトできません。

■パワーセーブ機能

機能説明：

送信機は約30秒間、ボタン等の操作が無いとLCDのバックライトが消灯します。そして約5分間何も操作が無いと送信機はアラームを鳴らして休止状態に入ります。何か操作をすれば休止状態は復帰します。

■距離テストモード

機能説明：

飛行前の距離テスト用に送信機の出力をローパワーに切り替える機能です。安全の為に必ず距離テストを行ってください。ローパワーの状態です約30m離れて正常に操作できればOKです。但しローパワー状態で絶対に飛行させないでください。

設定方法：

- 1：最初にアドバンスセットアップモードに入れます。
- 2：ダイヤル操作で距離テストメニューを選択します。
- 3：LCD中央に「P-H」が点滅する状態がこのメニューです。
- 4：エンターボタンを押して「H」部分をダイヤルで「L」に切り替えると出力がローパワー状態となります。この時、青LEDは点滅してアラームが鳴り続けます。
- 5：送信機の電源SWを再ONすると出力は自動的にハイパワーに戻ります。

■マスターリセット

機能説明：

送信機の各設定を初期値に全て戻す機能です。

注意：各設定を記録する前に不用意に実行しないでください。

必ず各設定を記録してから必要な場合のみ実行してください。

設定方法：

エンター、モード、リターンの三か所のボタンを押したまま電源SWをONにします。

※以下の機能は使用しないようにお願いいたします

■ワイヤレスコピー機能

機能説明：アドバンスセットアップメニューで設定数値表示部に「C P」と表示されるメニューです。
ワイヤレスで他のJ6送信機にデータをコピーする機能ですが2011年7月現在使用できません。

■通信モード切り替え

機能説明：受信機へ送信する信号のプロトコル（方式）を切り替える機能です。
2011年7月現在、使用しません。

注意：不用意に設定変更しますと機体側が反応しなくなります。

サポート依頼について

当送信機の修理規定は機体の日本語取扱説明書に記載されている内容となります。詳しくは機体の日本語取扱説明書をご参照ください。

◆重要なお願い◆

・修理品をご送付頂く際、必ず購入時のパッケージに入れて当説明書を同封下さい。当社販売品であるかを確認させていただきます。正規品以外（並行輸入品・他社取扱製品）はサポートを行いませんので、予めご了承下さい。

・部品交換で修理可能な場合は、部品代＋作業工賃＋送料がご請求金額となります。但し、ご請求金額が新品交換保証額を上回る場合は、無条件で新品交換保証を適用させていただきます。

◎輸入販売元

お問い合わせ・修理品送付先

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F
株式会社ハイテック マルチプレックス ジャパン
Nine Eagles専用ダイヤル：03-6458-0191

受付時間：月～金曜日（祝日・夏期休暇・年末年始を除く）
10:30～12:30, 13:30～16:30
Web Site：www.hitecrd.co.jp



◎輸入販売元

お問い合わせ・修理品送付先

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F

株式会社ハイテック マルチプレックス ジャパン

Nine Eagles専用ダイヤル：03-6458-0191

受付時間：月～金曜日（祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

10:30～12:30, 13:30～16:30

Web Site：www.hitecrd.co.jp